

令和5年度 第3回大和町地域公共交通会議 議事録

日 時：令和6年1月17日（水）午後1時30分～午後2時40分

場 所：大和町役場 3階 302会議室

出席者：浅野喜高会長、若生 昇委員、小川 実委員、早坂秀男委員、
高橋高委員、佐藤勝志委員、堀籠美江子委員、
中村信男委員、長尾勝吾委員、植松晋一委員、長谷部宗俊委員、
佐藤剛委員、二瓶智樹委員、宮野大樹委員、亀谷裕委員、出席委員 15人

欠席者：徳永幸之委員、工藤浩太郎委員（代理出席）横田壮一郎委員

事務局：まちづくり政策課 江本課長、菅野係長、齋
（株）協和コンサルタンツ 及川氏、田部氏、高橋氏

1. 開 会 進行 江本課長

委員18名中15名の過半数出席のため、会議が成立する旨報告。なお、関係者として地域公共交通会計画策定支援業務を依頼している協和コンサルタンツも出席をしている。はじめに、委員の変更がございましたので、お知らせをいたします。次第の裏面委員名簿をご覧ください。3一般貸切旅客自動車運送事業者について、これまでは有限会社大和観光 代表取締役 小林様が委員を務めておりましたが、バス事業の廃止に伴い、株式会社みちのく観光 代表取締役 工藤浩太郎様に委嘱をさせていただくこととなりました。会長より委嘱状の交付をさせていただきますので、よろしくお願いいたします。

（委嘱上の交付）

2. あいさつ（浅野会長）

皆さま改めまして、明けましておめでとうございます。本年もどうぞよろしくお願いを申し上げます。委員の変更ということで、みちのく観光 工藤様に委嘱状を交付させていただきましたので、どうぞよろしくお願いいたします。皆さま方には、日頃からまちづくりの推進に深いご理解と、ご協力をいただいておりますことに、改めて感謝を申し上げます。また、1月1日に発生した能登半島地震で、亡くなられた方々のご冥福をお祈り申し上げますとともに、被災に遭われた方々に心からお見舞いを申し上げます。本町としましては、現在、給水活動支援や保健師の派遣支援、物資の支援準備を進めております。また、募金活動として、本庁舎や南部コミュニティセンターで募金箱を設置しております。災害はいつ来るかわからないので、皆さま日頃から備えをしっかりといただきたいと思います。

さて、昨年から大和町地域公共交通計画策定を実施しており、本日は皆さま方に計画（案）をご説明させていただき、パブリックコメントの実施についてもご説明をさせていただきたく思います。忌憚のないご意見をいただきながら、ご承認を賜れればと思っておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

3. 議 事

設置要綱第7条の規定により、浅野副町長（会長）が議長となり、議事を進行。

議案第1号 令和5年度地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金一次評価について
（資料議案第1号参照）13：35～13：40 事務局（菅野係長）より説明

質疑

佐藤剛委員：前回話しがあったかもしれないが、計画目標値「1日あたりの平均利用者数54.8人以上とする」とあるが、毎年の計画目標値はどのような計算方法で目標値を設定しているのか。

事 務 局：計画目標値については、高校生の利用は通学利用を前提とし、増減がないものと設定している。その他の一般については、3年間の利用状況の伸び率をかけ、増加していくという設定をし、それを合わせて54.8人という数値の設定をしている。

佐藤剛委員：例えば「令和4年48.1人」の数値は下がっているが、どのような考え方なのか。

事 務 局：令和4年の目標値については、新型コロナウイルス感染症を加味し、目標値を少し下げて設定をした。

議案第1号 【原案どおり承認】

議案第2号 大和町地域公共交通計画（案）およびパブリックコメントの実施について
（資料議案第2号参照）13：43～14：02 事務局（菅野）より説明

質疑

植 松 委 員：計画（案）P24、P30に町民バスとデマンドタクシーの収支率の記載はあるが、活性化再生法では、収支率を目標に設定することが望ましいとされている。町民バスについては、フィーダー系統の補助申請をすることは承知しているが、町民バスとデマンドタクシーの収支率について、目標として計画（案）に記載するかどうかも含めて、どのように考えているか。

事 務 局：地域公共交通計画の目標設定にあたり、他市町村の計画書や手引きも参考にしながら作成しており、収支率を記載しているところもあることは認識

をしている。

町民バスの収支率を考える際に、収支率の計算方法で補助分を計上するかしないかで補助金額に左右される点もあるため、今回の計画(案)では、設定するのが難しいと判断し、目標値に掲載していない。デマンドタクシーについても、目標値として掲載していないが、今後の地域公共交通会議等でお示ししながら、運行方法の見直しを考えていきたい。

植松委員：デマンドタクシーに関しては、色々施策等の予定されているようなので、状況も見ながら、公共交通計画に記載するかどうかは別として、把握しながら、事業を進めてほしい。

若生委員：計画を作成し、町民に周知したとしても利用が増えるとは限らない。どうやったらもっと利用してもらえるか。専門的に何かあれば、教えてほしい。

植松委員：デマンドタクシーに関しては、収支率が良いところは基本的にないと思っている。利府町や名取市でも AI で効率的な運行をする実証実験を始めているところで、これからデータが蓄積し課題等が見えてくると思う。2、3人乗ることで、はじめて乗合いになるが、結局1人しか乗っていないと乗合い率が悪く、課題となっていることが多い。

事務局：デマンドタクシーに関して、サービス内容を充実させれば、利用する方は増えるが、収支率が増加するわけではなく、町の費用の持ち出しが多くなるという部分がある。

生活の必要な足としての公共交通ということが大前提なので、必要な方に必要な公共交通が適切に使われ、かつ不便な人がいないというのが理想である。「地域の方々の乗合い交通」で生活の足が確保され、不便がないというのであれば、そのような案もあると考えている。流行りでは AI 導入もありますが、効率的ではあるものの、費用がかかる面もある。最近では南三陸町でも導入しており、他市町村の状況も見ながら検討していきたい。

大和町としては、バス路線は1路線のみということもありますので、費用面も含めて、今後検討していく材料だと思っている。この計画期間中に色々検討していく必要があると考えている。

議案第2号 【原案どおり承認】

5. 閉会 14:40 進行 江本課長

慎重なご審議、大変ありがとうございました。以上をもちまして、令和5年度 第3回大和町地域公共交通会議を閉会とさせていただきます。皆さま、大変ありがとうございました。